児童学科 AP

児童学科は、「発達」「社会・臨床」「創造・文化」の３領域からなる児童学を学ぶ学科である。専門の学びを通じて、18 歳未満の子どもを生活者として多角的に理解し、国際社会の一員として子どもと共に文化を継承・創造することのできる人材を育成することを目指している。

本学科が求める学生像は、以下のとおりである。

【求める学生像】
・児童学を学びたいという意欲のある人
・「発達」「社会・臨床」「創造・文化」の３領域に幅広い興味を持つ人
・子どもや子どもを取り巻く課題を多角的に理解し、解決しようとする人
・子どもと共に文化を継承し、創造しようとする人

【高等学校段階までに修得すべき学力】
・論理的に物事を考える基礎的な知識と思考力
・自分の考えをまとめ他者に正しく伝えることができる基礎的な表現力
・他者とコミュニケーションをとり、協働して課題解決する力

上記の学力を身につけているかを判定する入学者選抜試験を以下の基本方針で行う。

(1) 一般選抜

一般選抜では、各入試区分で課している科目における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

・一般選抜（個別選抜型）

外国語（英語）に加え国語・地理歴史・数学・理科における基礎的な知識を身につけているかを、思考力および表現力も加味しながら判定する。

・一般選抜（英語外部試験利用型）

英語外部試験を利用して英語の４技能をバランスよく十分に修得しているかを判定する。さらに、筆記試験により国語・地理歴史・数学・理科の基礎的な知識、思考力および表現力を身に付けているかを、判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期３、４科目型））

大学入学共通テストの国語、外国語（英語）に加え地理歴史・公民・数学・理科から１科目の計 3 科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（前期５科目型））
大学入学共通テストの国語、外国語（英語）に加え地理歴史・公民・数学・理科から３科目の計 5 科目の試験によって、それぞれの科目における基礎的な知識、思考力および表現力を身につけているかを判定する。

・一般選抜（大学入学共通テスト利用型（後期））
大学入学共通テスト利用型（前期３、４科目型）と同じ方針で判定する。

(2) 総合型選抜
総合型選抜の第一次選考では、調査書を用いて高等学校等における取り組み状況を調査し、高校までに身につけるべき基礎的な知識と技能、主体性および協働性を総合的に判定する。また、全学科共通課題および学科別課題の小論文を通して主体性、論理的思考力および表現力を判定する。特に、児童学科では、情報や条件から論理的に結論を導くことができる能力、得意なことやユニークなことを学修に生かせる応用力など、文系理系を問わずに幅広い能力を持つ学生を求めている。第二次選考の小論文では、子どもや子どもの環境から課題を見つけ、その課題の問題を解決したり、新たな発見をしたりする主体的探求心をもつ意欲と、論理的な思考力、判断力、表現力を見る。さらに、口述試験ではコミュニケーション力や他者と議論する力などを審査する。以上の調査と試験を通して総合的に判定する。

(3) 学校推薦型選抜
高等学校等学校長によって推薦された人は、高校までに身につけるべき基礎的な学力を有していると判断する。さらに、出願書類と面接試験（口述試験）によって、学修や研究への意欲、自分の考えを表現する力、コミュニケーション力および協働性を総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（附属高等学校推薦）
日本女子大学附属高等学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験によって総合的に判定する。

・学校推薦型選抜（指定校制／連携校）
本学科が指定する高等学校（指定校／連携校）の学校長が推薦する人を対象に、出願書類と面接試験（口述試験）によって総合的に判定する。
・学校推薦型選抜（公募制）

高等学校長が推薦する人を対象に、小論文にて論理的な思考力と表現力を判定し、口述試験にてコミュニケーション力、表現力および他者と議論する力に加え、児童に関する基礎的な知識を判定する。出願書類も合わせて総合的に判断する。

(4) 外国人留学生

日本留学試験の日本語、総合科目の２科目の試験によって、十分な基礎学力を有しているかを判定する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、日本語能力、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および英語や児童学に関する基礎的な知識を有しているかを審査し総合的に判定する。

(5) 編入学・学士入学

大学・短期大学・高等専門学校を卒業した人（見込みを含む）や他大学在学中の人を対象に、小論文試験を行い、大学２年次もしくは３年次に相当する専門的な知識を有しているかを審査する。出願書類および口述試験によって、学修意欲、主体性、コミュニケーション能力、他者と議論する力、および英語や児童に関する知識を有しているかを審査し総合的に判定する。